

クラブOB会だより

平成16年度軟式庭球部OB会

富松 規子 (学部4年)

11月27日土曜日、午後7時から毎年恒例の薬学軟庭のOB会を長崎大学前の手羽屋で開催しました。毎年12月の第1週目に開催していたのですが、OBの皆さんは12月だとなかなか出席しにくいということで、今年は11月にしてみました。ところが、それが裏目に出てしまい、OBがいないOB会ということになってしまいました。参加するつもりでいてくださったのに、11月に開催したがために出席できなかったというOBの方もいて、大変申し訳なく思います。また、出席予定だったOBの方が急に来られなくなってしまったのは非常に残念でした。現役の学生がOBの方々から就職のことや進学のことなどについて話が聞けるのはこのOB会ぐらいしかないので、来年は是非多くのOBの方々に集まっていただき、様々なアドバイスをしてもらえればと思います。来年からは例年通り12月の第1週目に開催しようと思いますのでよろしくお願い致します。

このようなOBのいない寂しいOB会ではありましたが、3年生以下の後輩たちが4年生をOBとして温かく迎えてくれ、楽しいひと時を過ごすことができました。普段の練習は3年生が中心と

なって活動していますので、軟庭の練習に参加できなくなったうえ、国試を控え、さらに研究に追われるといった忙しい毎日を送っている4年生にとっては、後輩たちと久々に話せる場であり、会話が弾んでいたようです。また後輩たちも研究室配属のことや普段の講義のことなど、上級生から話を聞いたりして有意義な時間となったのではないのでしょうか。

翌日のOB戦もまた、現役学生のみではありましたが28名が参加し、熱戦が繰り広げられました。学年、男女全く関係なく組分けをして、トーナメント戦や団体戦を行い、大いに盛り上がりました。実を言うと、軟庭のコートや部室がなくなってしまい、練習もなかなかできない状態となっているため、軟庭の存続は難しいのではないかと不安に思っていました。しかし、今回後輩たちが楽しそうにプレーしているのを見て安心しました。これからもみんなで仲良く練習し、学生時代の楽しい思い出をたくさん作って欲しいと思います。そして私も卒業後にOBとして参加できるのを楽しみにしています。



第20回薬学硬式テニス部OB会

横田 千明 (平16)

11月27、28日の二日間、第20回薬学硬式テニス部OB会を開催いたしました。

27日は北門コートでOB対現役による対抗戦と懇親会を行いました。晴天に恵まれたのですが、前日に降った雨のためクレコートを使用することができず、対抗戦はオムニコート二面のみで行いました。今年はOB 8勝、現役6勝でOBの勝利という結果になりました。対抗戦後、懇親会を行いました。参加者はOB、現役あわせて約60名のほり、盛大に行うことができました。今年は20周年に加えて、OBの高橋さんが薬品製造化学の助手に就任したというニュースもあり、例年以上にめでたい懇親会となりました。

28日は普段から練習で使用している教育学部下のコートでOB、現役を交えて試合や合同練習を

行いました。OBの方からアドバイスをいただくことができ、勉強になりました。

20周年という節目の年でありながら、対抗試合をあまりできなかったことは残念でしたが、今年も初代顧問である石黒先生や、部創設時のOBの方々をはじめ、遠くは関西、熊本、対馬などからこの日のために来ていただいたことをたいへん嬉しく思っております。また、参加できなかったOBの方々からもたくさんのメッセージをいただき感謝しております。OBの先輩方の努力のおかげで薬学硬式テニス部は薬学部一の大きなクラブへと成長することができました。ちょっと気が早いかもしれませんが、10年後の30周年のときはもっと盛大なOB会となることを期待しています。



平成16年度野球部OB会とOB戦観戦記

伊藤 潔 (昭59)

11月13日の土曜日、午後6時から毎年恒例の長葉野球部OB会が開催された。場所も恒例の江山楼浦上店。いつからか各テーブルにはお酒の小瓶がサービスされるのも恒例となったようだ。今年の参加者はOBが37名、現役部員が35名の72名。案内から当日までが短かったにも関わらず例年並の人数が集まった。39名のOBのうち昭和組は13名で、昨年よりも3名減。いつもの昭和30年代組の先輩の姿が拝見できなかったこと、多忙を極める40年代組の先輩のお名前も見ることができなかったのはちょっと寂しいが、長葉を卒業後琉球大学医学部に学び立派な医師となった日宇宏之君(平7)が帰ってきてくれたことは嬉しかった。6時を少し回ったところで、いつものように伊藤(昭59)が現役チームの戦績を紹介し、司会進行を前キャプテンの穂積宏彰君に渡した。今年も本当に本当に残念ながら九葉連の優勝は逃したが(最終回に逆転を許す)、秋の三校戦(長大、熊大、福大)には優勝した昨年に負けない実力チームのキャプテンである。なくては始まらない西脇金一郎同窓会長(昭33)の挨拶に続き、今泉貴世志先輩(昭31)の乾杯の音頭でプレーボールが宣言された。毎年この原稿を書くものの、年々記憶力が低下し、本会報の原稿は昨年のもので所々の名前を変更するだけというのが正直な所。しかしですよ、特筆すべきところはないものの毎年一年に一度続けられ、これからも続いていくであろうこの会の楽しい雰囲気、盛り上がりは参加してみないとわからないものかも知れません。会の模様が伝わってこないとお嘆きの諸兄、一度足をお運びあれ。決して筆者の筆不足のせいばかりではなく、そこにはいつものながらの、変わらないけれど「なんかいい感じ」の会が待っているはず。院生を含む現役学生による巻頭言と校歌斉唱。今泉貴世志先輩(昭31)からの準硬式ボールの贈呈。翌14日のOB対現役の親睦試合のOB側先発メンバーの発表。ピッチャー今泉(昭31)、吉田(昭55)、田中(平11)、キャッチャー大木(昭52)、ファースト鈴木

(平14)、セカンド八木(平9)、サード平川(昭63)、ショート山口(平12)、レフト森川(平2)、センター秋吉(平3)、ライト井石(平4)。晴れの先発メンバーはステージ上で今泉キャプテンの掛け声の下、必勝を期した。締めは高木康先輩(昭35)、地元滑石で野球部をいつも暖かく見守って下さっています。万歳三唱で野球部OB会の発展を祈った。

会の出席者は以下の通りです(OBのみ)。今泉貴世志(昭31)、西脇金一郎(昭33)、高木康(昭35)、松田米人(昭50)、田原務(昭51)、大木豊(昭52)、濱田哲也(昭54)、吉田泰史(昭55)、上田静雄(昭58)、伊藤潔(昭59)、久松貞義(昭60)、小田原志郎(昭60)、平川善章(昭63)、森川慎也(平2)、秋吉隆治(平3)、井石政之(平4)、日宇宏之(平6)、横道重治(平6)、平良文亨(平9)、八木洋一(平9)、目良国寛(平10)、松井もも子(平10)、田中博隆(平11)、大山要(平12)、山口隆(平12)、鈴木秀明(平14)、川端英司(平14)、牛島信人(平15)、岡泰由(平15)、坂田真人(平15)、永川貴(平16)、小川恭平(平16)、小野原侑子(平16)、片山奈央香(平16)、高野大樹(平16)、富森裕司(平16)、牟田響(平16)

会の模様は、出席者名も合わせて野球部同窓会ホームページでもご覧になれる予定です。<http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/dousou/club/baseball/homebase.html>

OB戦観戦記

きれいな秋晴れとまではいかなかったものの野球をするには何の問題もない11月14日。曇り後雨の予報を受けて、例年よりやや早めに出揃ったOB軍。紅白戦の1イニングに続いて恒例のOB戦は9時30分過ぎにプレーボールとなった。

先攻はOB。1番今泉ライト前へクリーンヒット。本当に昭和31年卒なのでしょうか？臨時代走に牛島を送り、4番に座った八木のヒットで先取点を狙ったが後続が倒れて無得点。その裏先発今

泉は先頭の菅原をピッチャーゴロに仕留めるも1塁を許してしまう。ここでピッチャーはおなじみの吉田へ。2点を失うがまずまずのでき。OBは2回にも8番小畑にヒットが出るが得点には結びつかない。するとその裏、ここ数年高いレベルを保つ現役陣はヒットを連ねて3点を追加した。ただOBもやられるばかりではない。昨年サードで完ぺきな守備を見せた平川が続く3、4回を本職の

ピッチャーでも力を見せ現役を0点に抑えた。何とか点を取りたいOBだが、7回に森川のヒットで1点を入れるのがやっと。5、6、7回には追加点を許し10対1。こんなOBだが8回裏、はるばる東京から参加の鈴木が腰の痛みを押してキャッチャーを志願。マウンドには川端を送り、H14卒のバッテリーを再現させると、期待に応え先頭打者を三振、後続も打ち取り三者凡退。何と





か2点目をとOB最終回の攻撃に。しかし現役藤村の速球はOBに夢は見させず，三者凡退でゲームセットとなった。

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
O B	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
現 役	2	3	0	0	2	1	2	0	X	10

試合後は恒例の皿うどん+パーティー，畳だけは新調された往年の(?)集会場で，終わったばかりの試合の話で盛り上がった。今年は何といても今泉先輩のヒットが印象に残る。今年は失点を許した田中であつたが，試合後は夜まで大活躍だったようである。来年の主役は誰だ。